

シラバス<改訂 2 版(2009.7.31.)>

2009 年度:共通教育(統合科目) 2 単位

「4 つの力」スタートアップセミナー



担当教員: 長澤 多代 (ながさわ たよ)

三重大学 高等教育創造開発センター

時 間: 金曜 7/8 時限 (14:40~16:10) 前期

対 象: 1 年生 (人文学部・法律経済学科)

教 室: PBL 教室 2 (共通教育棟 1 号館 3 階一部屋番号 318)

連絡先: nagasawa@hedc.mie-u.ac.jp もしくは ICI43543@nifty.com

TEL 059-231-5621 (内線 3770) FAX 059-231-5615 (共有)

研究室: 共通教育棟 1 号館 (共通教育事務室の 2 階一部屋番号 211)

オフィス・アワー(前期): 火曜 16:00~17:30 (予約の必要はありません)

オフィス・アワー(後期): 木曜 12:00~13:30 (予約の必要はありません)

これ以外の時間帯についても「在室」中ならいつでも大丈夫ですが、

不在の場合には、事前に電話やメール等で予約してください。

使用する文献: 花見楨子;鹿島 恵『大学生のためのレポート作成ハンドブック』三重大学共通教育センター, 2006, 45p.

他の文献については、授業の中で適宜指示します。

TA(ティーチング・アシスタント):

*** (* * * * *) *** 研究科・修士課程 2 年

M@m.mie-u.ac.jp

*** (* * * * *) *** 研究科・修士課程 2 年

M@m.mie-u.ac.jp

授業のねらい

- ・ 主体的学習者としての自己認識, さまざまなコミュニティの構成員としての自己認識をもつ。
- ・ 感じる力, 考える力, 生きる力, コミュニケーション力 (4 つの力) の意義を理解し, 学習意欲を高める。
- ・ 4 つの力の素養を習得する。

◆ 授業の到達目標

- ・ 自らの立ち位置を理解する。
- ・ 大学の教育目標(4 つの力)を理解し, 自発的な学習目標を設定する。
- ・ 学習目標を実現するための学習スキル・学習方法を習得する。

(各回の目標については, 毎回の授業で提示します。)

◆ 授業の方法

講義, 演習(個人, ペア, グループ), グループによる発表, 教室外の学習によって進めます。

◆ 授業計画

本科目は「通年」の授業です。授業（教室内）は前期の 14 回と後期の 1 回からなります。

	授業日	内容
第 1 回	4 月 17 日	<p>「大学の学びへの招待」</p> <p>◇科目の概要説明（授業計画，授業の内容，課題，成績評価の方法）</p> <p>◇演習：アイスブレイキング（自己紹介）</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 A：大学生活を含む日常生活の中で「なぜ？」と思ったり，もっと知りたいと思ったりしたことを記録する。</p> <p>◇読書課題：溝上慎一「大学での勉強は役に立つ(1)」『大学生の学び・入門』有斐閣 2006, p.23-38. [附属図書館の請求記号（以下，同様）：377.15/Mi/93]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 2 回	4 月 24 日	<p>「ノートを取る方法」</p> <p>◇講義・演習：授業のスタイル別のノートの取り方</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 B：1 週間分の授業における授業のスタイルとノートの取り方を記録・省察する。</p> <p>◇読書課題：藤田哲也編著「ノートの取り方 1：大学の多様な授業スタイル」「ノートの取り方：役立つノートとは」『大学基礎講座：充実した大学生活をおくるために』改増版，北大路書房，2006, p.11-49. [377.15/F67]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 3 回	5 月 1 日	<p>「テーマを設定する方法 ①」</p> <p>◇講義：テーマのしぼり方，ブレインストーミングの方法</p> <p>◇演習：ブレインストーミングによるアイデア・マップの作成</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 C：アイデア・マップを作成する。</p> <p>◇読書課題：佐藤望ほか「1-4. 問いを立てる：研究の出発点」「1-5. 研究テーマの三箇条」『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』慶応義塾大学出版会，2006, p.18-23. [377.15/A28]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
5 月 8 日は，担当教員が出張のために，休講です。		

第 4 回	5 月 15 日	<p>「テーマを設定する方法 ②」</p> <p>◇演習：ブレインストーミング</p> <p>◇演習：作成したアイディア・マップの発表</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇グループ課題 O：アイディア・マップを完成させる。</p> <p>◇読書課題：ウィリアム・リード「これだけは知っておきたい！マインドマップ 基本ルール」『記憶力・発想力が驚くほど高まる：マインドマップ・ノート術』フォレスト出版，2005，p.69-95. [附属図書館に発注中]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 5 回	5 月 22 日	<p>「レポートの骨組みを作成する方法」</p> <p>◇講義：レポートの構造</p> <p>◇演習：「はじめに」の作成と発表，「全体の構成」の作成</p> <hr/> <p>教室外の課題</p> <p>◇グループ課題 P：レポートの骨組みを作成する。</p> <p>◇読書課題：「1. 資料収集とアウトライン」(p.1-2)，「7. 序論を書く」(p.20-21)，「付録 レポートモデル」(p.36の次のページから) 花見ほか『大学生のためのレポート作成ハンドブック』三重大学共通教育センター，2006.</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 6 回	5 月 29 日	<p>「図書館を用いた情報の探索方法」【場所：附属図書館の「Web-Frontier」2階に集合：入口を入ってすぐ左手にある階段を上がって下さい。】</p> <p>◇講義：学習支援機関としての大学図書館</p> <p>◇演習：図書館ツアー</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 D：文献を調査する：図書，雑誌，新聞，参考図書，視聴覚資料</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 7 回	6 月 5 日	<p>「テキストを読み取る方法」</p> <p>◇講義：情報を評価する方法</p> <p>◇講義：テキストの読み方，議論の展開の仕方，記録の取り方</p> <p>◇演習：議論の展開の仕方</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 E：議論の展開の仕方について（説明した 4 つのうち少なくとも 2 つを選択して）具体例を考える。</p> <p>◇読書課題：佐藤望ほか「本を読む：クリティカル・リーディングの手法」『アカデミック・スキルズ』慶応義塾大学出版会，2006，p.68-84. [377.15/A28]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>

第 8 回	6 月 12 日	<p>「ヒトやモノから情報を得る方法」</p> <p>◇講義：観察する方法</p> <p>◇講義：インタビューの方法</p> <p>◇演習：レポートの骨組みを完成させる。必要な情報（追加分）を探索する。</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 F：任意のテーマで、レポートの骨組みを作成する（グループ発表で取り組んでいるテーマと全く同じではないこと→違う切り口は OK）。</p> <p>◇読書課題：佐藤郁哉「インフォーマル・インタビュー」「面接・ヒアリング・聞き取り」「質問リスト」『組織と経営について知るための実践フィールドワーク入門』有斐閣，2002，p.102-116. [361.7/Sa85]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 9 回	6 月 19 日	<p>「発表をする方法」</p> <p>◇講義：発表の種類，発表の準備と方法</p> <p>◇演習：レジュメを作成する。</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇グループ課題 R：レジュメを完成させる。</p> <p>◇読書課題：佐藤望ほか「6-3. プレゼンテーション（口頭発表）のやり方」『アカデミック・スキルズ:大学生のための知的技法入門』慶応義塾大学出版会，2006，p.121-131. [377.15/A28]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 10 回	6 月 26 日	<p>「大学で学ぶとは」</p> <p>◇講義：日本の大学の仕組み，大学進学率</p> <p>◇講義：日本の大学における教育改革の動向，三つの方針（ディプロマ・ポリシー，カリキュラム・ポリシー，アドミッション・ポリシー），単位の実質化</p> <p>◇講義：三重大学の教育</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 G：教室外の学習を記録し省察する。</p> <p>◇読書課題：中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」（答申）第 1 章，中山 茂「大学の小道具」『大学とアメリカ社会：日本人の視点から』朝日新聞社，1994，p.210-218. [絶版，附属図書館に所蔵なし→相互貸借]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>

第 11 回	7 月 3 日	<p>「レポートを作成する方法」</p> <p>◇講義：全体の構成，段落の構成，引用の方法</p> <p>◇演習：レポートを作成する。</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇グループ課題 Q：グループで作成中のレポートを完成させる。文字数：5,000 字程度（A4 サイズ 5 枚）</p> <p>◇グループで，発表の準備・リハーサルをする。</p> <p>◇個人課題 H：発表のリハーサルにおいて気づいた「良かった点」「改善すべき点と対策」を記録し，省察する。</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 12 回	7 月 10 日	<p>「グループ発表 ①」</p> <p>◇演習：グループによる発表（C チーム，A チーム，B チーム，G チーム）</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 I：本日の発表内容を要約し，「良かった点」「改善すべき点と対策」を記録する。</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 13 回	7 月 17 日	<p>「グループ発表 ②」</p> <p>◇演習：グループによる発表（E チーム，I チーム，H チーム，F チーム）</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 J：本日の発表内容を要約し，「良かった点」「改善すべき点と対策」を記録する。</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
7 月 24 日は水曜日の時間割です。		
第 14 回	7 月 31 日	<p>「学習活動を評価する方法」</p> <p>◇演習：グループ発表を評価する（グループ課題 R）。</p> <p>◇講義：学習活動を評価する視点と方法</p> <p>◇講義：「4 つの力」スタートアップセミナーで学習した内容のまとめ</p> <p>◇演習：学習活動の総括評価①</p>
第 15 回	12 月前半	<p>◇教室外の学習：学習活動の総括評価②を作成する。</p> <p>→11 月中に，電子メール及び掲示によって通知をします。</p> <p>◇個人面談</p> <p>→11 月中に，面談時間の日程照会をします。</p>

◆ 課題の提出期限と提出方法

個人課題およびグループ課題

提出期限：次回の授業時

学習ポートフォリオ

提出期限：次回の授業日の前日である木曜日の午前 10:30

提出方法：共通教育事務室横のポスト（番号 22），電子メール，FAX，Moodle のいずれか

Moodle の URL <http://portal.mie-u.ac.jp/moodle09/>登録キー *****_***いずれの課題についても，提出期限を過ぎた場合には，減点します。個人課題（3点→2点），グループ課題（4点→3点），学習ポートフォリオ（2点→1点）

◆ 成績評価の方法

合格の条件は，前期（85 点満点）と後期（15 点満点）の合計が 60 点以上になることです。

前期（85 点）

- ① 個人課題（教室外における課題 A～J）：30 点（3 点×10 回）
- ② 学習ポートフォリオ（記録，省察）：26 点（2 点×13 回）
- ③ グループ課題（グループ発表に関する課題 O～R）：20 点（4 点×5 回）
- ④ 学習活動の総括評価①：9 点

後期（15 点）

- ① 学習活動の総括評価②（記録，省察）：10 点
- ② 個人面談：5 点

◆ 大学生として必要となる学習時間（「大学設置基準」第 21 条 単位）

本科目では，教室外の学習として 60 時間の準備学習及び復習が必要になります。

根拠は次のとおりです。

- ◇ 本科目の単位を取得するのに必要な学習時間の総量：90 時間
= 単位制度によって定められた 1 単位の習得に必要な学習時間(45 時間)
× 2 単位(本科目の単位数)
- ◇ 教室内における学習時間：30 時間 = 2 時間(90 分)×15 回
- ◇ 教室外に必要な学習時間：60 時間
= 90 時間(教室内外の学習時間) - 30 時間(教室内の学習時間)

<<シラバスは学習の手引です。毎回授業にもってきてください。>>